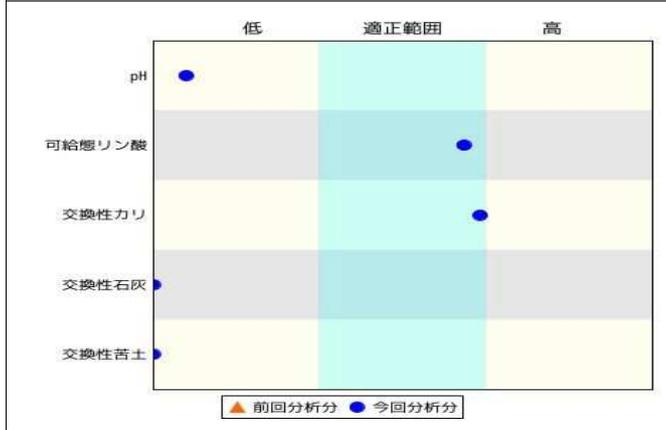


様	依頼先	広域土壌分析センター岩手	所属	JA	JAいわて花巻	受付日	2023/01/25
	サンプルNo	5672				支店	花巻地域営農グループ

■ 詳細情報

圃場		面積	10a	採土場所	松崎	採土日	
作物	イネ科牧草	品種		栽培様式	作型	土性	
土壌種類		採土時期		作土深	農家コード		

■ 分析結果グラフ



■ 分析所見

- ・pHが低くなっています。
- ・可給態リン酸は適正です。リン酸肥料は標準量(補給型)を施用します。
- ・交換性加里は適正です。加里肥料は標準量(補給型)を施用します。
- ・交換性石灰が不足しています。土壌改良が必要です。
- ・交換性苦土が不足しています。土壌改良が必要です。
- ・石灰苦土比は適正です。
- ・苦土加里比が低くなっています。バランスに注意しましょう。

■ 分析結果

分析項目	単位	分析値	目標値	適正範囲	前回値
pH	-	5.6 ▼低い		6.0~6.5	
EC	mS/cm	0.03			
可給態リン酸	mg/100g	27.0		7.0~30.0	
交換性カリ	mg/100g	41.0		15.7~41.8	
交換性石灰	mg/100g	145 ▼低い		311.2~373.5	
交換性苦土	mg/100g	23.0 ▼低い		58.2~67.1	
CEC	me/100g	22.2			
石灰飽和度		23			
苦土飽和度		5			
加里飽和度		4			

分析項目	単位	分析値	目標値	適正範囲	前回値
塩基飽和度		32			
Ca/Mg 比		4.5			
Mg/K 比		1.3			

■ 土づくり肥料 目安施肥量

	リン酸	石灰	苦土	加里	ケイ酸	鉄
10aあたり(kg)	0.0	197.	35.2	0.0		

■ 特記事項

- ・作土深は10.00cmで計算しています。・仮比重は1.00で計算しています。
- ・土壌図(農研機構:日本土壌イベントリー土壌図、<<https://soil-inventory.rad.naro.go.jp/>>)から土壌の種類を推定できます。
- ・資材量が300kg/10aを超えるときは、数年かけて計画的に改良しましょう。
- ・CECが15me/100g未満の場合には15me/100g、40me/100g以上の場合には40me/100gとして資材量を計算しています。(水稻を除く、CEC値の大小による資材量の過少や過多を防ぐため)
- ・分析値が有効態リン酸1,000mg/100gを超える場合には1,000mg/100g、硝酸体窒素50mg/100gを超える場合には50mg/100gと表示しています。(分析上限値のため)

■ 土づくり肥料と投入量 圃場あたり(kg)

肥料銘柄	重量	リン酸	石灰	苦土	加里	ケイ酸	鉄
タンカル(粒状)	390	0.0	195.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ニューエコマグ	60	0.0	0.4	33.0	0.0	0.0	0.0
合計		0.0	195.	33.0	0.0	0.0	0.0
過不足		0.0	-2.0	-2.2	0.0		

■ コメント

■左の表は、不足分を補う(土壌改良分)土づくり資材です。(元肥に追加、今回限り、単肥で選定)
 ■定期的に土壌診断を実施し、過不足している成分を確認しましょう。

■ 土づくり肥料

タンカル(粒状)



ニューエコマグ



診断処方箋

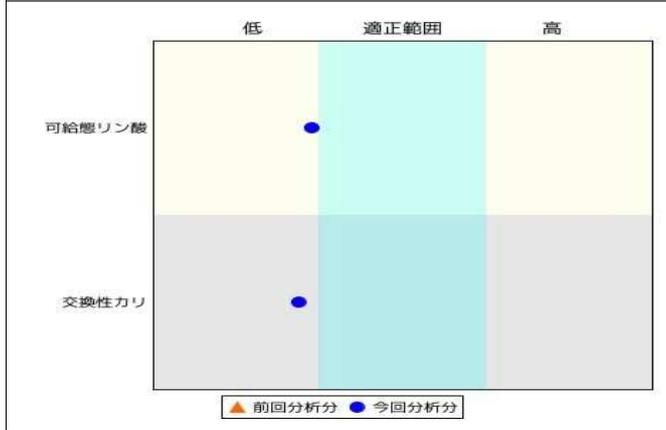
岩手県本部

様	依頼先	広域土壌分析センター岩手	所属	JA	JAいわて花巻	受付日	2023/05/18
	サンプルNo	1338				支店	営農部 米穀販売課

詳細情報

圃場		面積	10a	採土場所	松崎町	採土日	
作物	イネ科牧草	品種	イネ科牧草(PKバック)	栽培様式		作型	土性
土壌種類		採土時期		作土深		農家コード	

分析結果グラフ



分析所見

- ・可給態リン酸が不足しています。土壌改良を行い、リン酸肥料は標準量(従来型)を施用します。
- ・交換性加里が不足しています。土壌改良を行い、加里肥料は標準量(従来型)を施用します。

分析結果

分析項目	単位	分析値	目標値	適正範囲	前回値
pH	-	-		6.0~6.5	
EC	mS/cm	-			
可給態リン酸	mg/100g	6	▽やや低い	7.0~30.0	
交換性カリ	mg/100g	14.0	▽やや低い	17.7~47.1	
交換性石灰	mg/100g	-		0.0~0.0	
交換性苦土	mg/100g	-		0.0~0.0	
CEC	me/100g	-			
りん吸	-	-			
石灰飽和度		*			
苦土飽和度		*			

分析項目	単位	分析値	目標値	適正範囲	前回値
加里飽和度		*			
塩基飽和度		*			
Ca/Mg 比		*			
Mg/K 比		*			

土づくり肥料 目安施肥量

	リン酸	石灰	苦土	加里	ケイ酸	鉄
10aあたり(kg)	5.0			7.2		

特記事項

- ・作土深は10.00cmで計算しています。
- ・仮比重は1.00で計算しています。
- ・CECを25me/100gとして計算しています。
- ・定期的に土壌診断を実施し、過不足している成分がないか確認しましょう。

土づくり肥料と投入量 圃場あたり(kg)

肥料銘柄	重量	リン酸	石灰	苦土	加里	ケイ酸	鉄
塩化加里	20	0.0	0.0	0.0	12.0	0.0	0.0
重過石	20	6.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計		6.8	0.0	0.0	12.0	0.0	0.0
過不足		1.8			4.8		

コメント

土づくり肥料

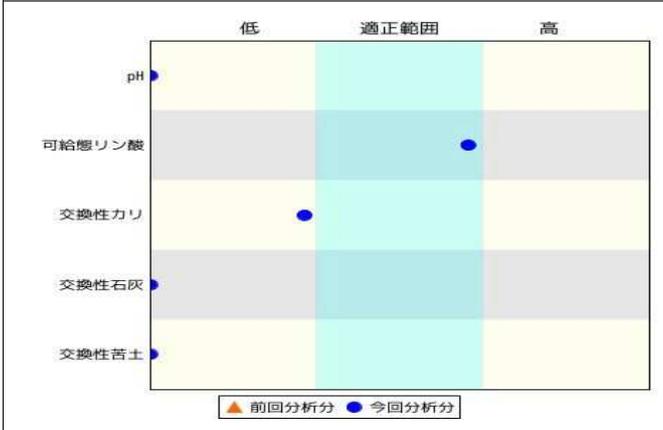


様	依頼先	広域土壌分析センター岩手	所属	JA	JAいわて花巻	受付日	2023/02/06
	サンプルNo	6084				支店	花巻地域営農グループ

■ 詳細情報

圃場		面積	10a	採土場所	松崎	採土日	
作物	イネ科牧草	品種		栽培様式	作型	土性	
土壌種類		採土時期		作土深	農家コード		

■ 分析結果グラフ



■ 分析所見

- ・pHが低くなっています。
- ・可給態リン酸は適正です。リン酸肥料は標準量(補給型)を施用します。
- ・交換性加里が不足しています。土壌改良を行い、加里肥料は標準量(従来型)を施用します。
- ・交換性石灰が不足しています。土壌改良が必要です。
- ・交換性苦土が不足しています。土壌改良が必要です。
- ・石灰苦土比が低くなっています。バランスに注意しましょう。
- ・苦土加里比は適正です。

■ 分析結果

分析項目	単位	分析値	目標値	適正範囲	前回値
pH	-	5.2▼低い		6.0~6.5	
EC	mS/cm	0.02			
可給態リン酸	mg/100g	28.0		7.0~30.0	
交換性カリ	mg/100g	8▼やや低い		9.0~24.1	
交換性石灰	mg/100g	56.0▼低い		179.5~215.4	
交換性苦土	mg/100g	17.0▼低い		33.5~38.7	
CEC	me/100g	12.8			
石灰飽和度		16			
苦土飽和度		7			
加里飽和度		1			

分析項目	単位	分析値	目標値	適正範囲	前回値
塩基飽和度		24			
Ca/Mg比		2.3			
Mg/K比		5.0			

■ 土づくり肥料 目安施肥量

	リン酸	石灰	苦土	加里	ケイ酸	鉄
10aあたり(kg)	0.0	175.0	22.3	13.2		

■ 特記事項

- ・作土深は10.00cmで計算しています。・仮比重は1.00で計算しています。
- ・土壌図(農研機構:日本土壌イベンタリー土壌図、<<https://soil-inventory.rad.naro.go.jp/>>)から土壌の種類を推定できます。
- ・資材量が300kg/10aを超えるときは、数年かけて計画的に改良しましょう。
- ・CECが15me/100g未満の場合には15me/100g、40me/100g以上の場合には40me/100gとして資材量を計算しています。(水稻を除く、CEC値の大小による資材量の過少や過多を防ぐため)
- ・分析値が有効態リン酸1,000mg/100gを超える場合には1,000mg/100g、硝酸体窒素50mg/100gを超える場合には50mg/100gと表示しています。(分析上限値のため)

■ 土づくり肥料と投入量 圃場あたり(kg)

肥料銘柄	重量	リン酸	石灰	苦土	加里	ケイ酸	鉄
タンカル(粒状)	350	0.0	175.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ニューエコマグ	40	0.0	0.2	22.0	0.0	0.0	0.0
塩化加里	20	0.0	0.0	0.0	12.0	0.0	0.0
合計		0.0	175.0	22.0	12.0	0.0	0.0
過不足		0.0	-0.1	-0.3	-1.2		

■ コメント

■左の表は、不足分を補う(土壌改良分)土づくり資材です。(元肥に追加、今回限り、単肥で選定)
 ■定期的に土壌診断を実施し、過不足している成分を確認しましょう。

■ 土づくり肥料

タンカル(粒状)



ニューエコマグ



塩化加里

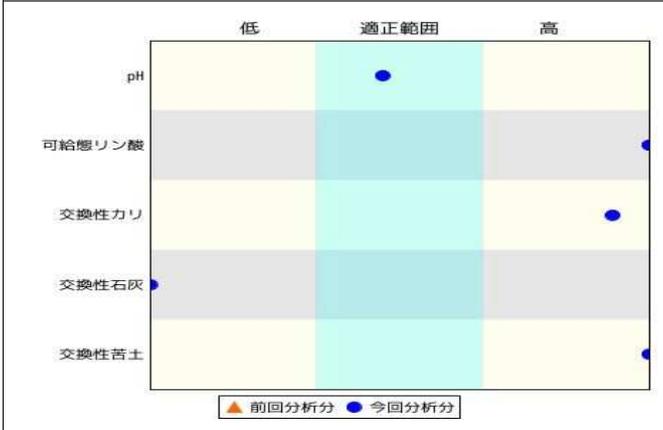


様	依頼先	広域土壌分析センター岩手	所属	JA	JAいわて花巻	受付日	2023/02/06
	サンプルNo	6085				支店	花巻地域営農グループ

■ 詳細情報

圃場		面積	10a	採土場所	松崎	採土日	
作物	イネ科牧草	品種		栽培様式	作型	土性	
土壌種類		採土時期		作土深	農家コード		

■ 分析結果グラフ



■ 分析所見

- ・pHは適正です。
- ・可給態リン酸が大幅に富化しています。リン酸肥料は不要です。
- ・交換性加里が富化しています。加里肥料は50%程度削減できます。
- ・交換性石灰が不足しています。土壤改良が必要です。
- ・交換性苦土が多くなっています。
- ・石灰苦土比が低くなっています。バランスに注意しましょう。
- ・苦土加里比は適正です。

■ 分析結果

分析項目	単位	分析値	目標値	適正範囲	前回値
pH	-	6.2		6.0~6.5	
EC	mS/cm	0.04			
可給態リン酸	mg/100g	65.0 ▲高い		7.0~30.0	
交換性カリ	mg/100g	48.0 ▲高い		12.1~32.2	
交換性石灰	mg/100g	188 ▼低い		239.7~287.7	
交換性苦土	mg/100g	71.0 ▲高い		44.8~51.7	
CEC	me/100g	17.1			
石灰飽和度		39			
苦土飽和度		21			
加里飽和度		6			

分析項目	単位	分析値	目標値	適正範囲	前回値
塩基飽和度		66			
Ca/Mg 比		1.9			
Mg/K 比		3.5			

■ 土づくり肥料 目安施肥量

	リン酸	石灰	苦土	加里	ケイ酸	鉄
10aあたり(kg)	0.0	75.7	0.0	0.0		

■ 特記事項

- ・作土深は10.00cmで計算しています。・仮比重は1.00で計算しています。
- ・土壌図(農研機構:日本土壌イベントリー土壌図、<<https://soil-inventory.rad.naro.go.jp/>>)から土壌の種類を推定できます。
- ・資材量が300kg/10aを超えるときは、数年かけて計画的に改良しましょう。
- ・CECが15me/100g未満の場合には15me/100g、40me/100g以上の場合には40me/100gとして資材量を計算しています。(水稻を除く、CEC値の大小による資材量の過少や過多を防ぐため)
- ・分析値が有効態リン酸1,000mg/100gを超える場合には1,000mg/100g、硝酸体窒素50mg/100gを超える場合には50mg/100gと表示しています。(分析上限値のため)

■ 土づくり肥料と投入量 圃場あたり(kg)

肥料銘柄	重量	リン酸	石灰	苦土	加里	ケイ酸	鉄
タンカル(粒状)	150	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計		0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0
過不足		0.0	-0.7	0.0	0.0		

■ コメント

- 可給態リン酸、交換性カリ及び苦土が高いことから、これらの成分を含む有機物(若しくは肥料)と思われる過剰施用の傾向が見られます。
- 左の表は、不足分を補う(土壤改良分)土づくり資材です。(元肥に追加、今回限り)
- 定期的に土壌診断を実施し、過不足している成分を確認しましょう。

■ 土づくり肥料

タンカル(粒状)